

スワいち

取り組みに至る背景・事業の目的

- 有為ある民間のまちづくりグループは多いが、そのグループが相互に交流する機会は、行政間の結びつきに比べ意外に少ないのが現状である。平成 18 年に諏訪湖周 3 市町で活動する仲間と連携するため、諏訪アライアンスプロジェクト「さいか」を立ち上げた。
それぞれが持っている情報、人材、地域資源等を共有・補完し合い、ゆるやかなネットワークの醸成を目指すため、メンバーがそれぞれの地域で定期的に行っているイベントを同時開催する広域連携型イベント「スワいち」を開催している。
- 「スワいち」は、諏訪地域の 5 市町内の会場を電車をつなぎ、古語の「をかし」（面白い、興味深い）をキーワードに、参加地域の「お菓子」を中心に据えて、イベントに協調性を持たせる。また、自分たちが暮らす町をゆっくり歩くことで、地域に点在する魅力やすばらしさを感じる機会を提供する。

事業内容

- 各地域で開催しているイベントを同時開催する広域連携型イベント「スワいち」を開催した。
- 平成 21 年 2 月 28 日（土）に、岡谷、下諏訪、上諏訪、茅野、富士見の 5 エリアで開催。
 - ・をかしまつり（菓子販売）
 - ・ライブコンサート
 - ・短編映画上映
 - ・5 会場間を結ぶ JR「スワいち号」の運行（2 往復）
 - ・参加者へのアンケート調査 等



【スワいちの様子】

事業効果

- 各地区でのイベントを同時開催したことで、回遊・相乗効果が生まれ、来場者数、出店店舗（個人）数、連携への参加団体（個人）数は、いずれも、前年開催より増加した。
- 来場者数 延べ 11,000 人
- 出店店舗（個人）数 250 軒
- 連携への参加団体（個人）数 40 団体
- 各地域のイベントを同時開催することで、地域の一体感が醸成されている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 「スワいち」は、商業従事者だけでなく、色々な職種のグループの参加が始まっており、地域活性化に関わる団体が自主的に参加することで、個々の課題を色々な分野の人たちの感性に触れ、多面的に考えられる機会として機能している。
- ゆるやかな連携である諏訪アライアンス「さいか」に参加する仲間を醸成しながら、次世代の地域の担い手づくりへの貢献をしていく。

【選定のポイント】

様々な団体が自主的に参加し、ゆるやかに連携をしたことで、イベントとしての魅力が向上し、大きな集客効果があった。諏訪地域一円で実施され、地域全体の一体感の醸成に大きく寄与した。

団体名	NPO 匠の町しもすわあきないプロジェクト（下諏訪町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 電話 0266-27-9033	事業費	2,281,075 円
		支援金額	2,270,000 円